

◇ 新年のご挨拶

理事長 恒松成人

新年、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、東日本大震災での自然災害への脅威、原発事故による目に見えぬ放射能の恐ろしさ、異常気象による風水害など、大規模災害に見舞われた一年でありました。多くの犠牲者や行方不明者を出し、今もなお苦しんでおられる被災者のことを考えると、大変胸が痛みます。当法人としても義援金や生活物資の提供をさせて頂きましたが、今後の長い復興期間を考えると息の長い支援が必要だと思えますし、我々にもできることも微力ではありますが継続して行っていくことが大切だと考えます。道のは大変険しいですが、一日も早い被災地の復興を祈念いたします。

さて、当施設におきましては、四月に新体系事業移行を実施し、日中活動を生活介護事業と就労継続支援B型事業に分け、国の法改正等の動きを見極めながら今後の方向性を検討してまいりましたが、重度化・高齢化に対応した支援体制がより求められることを考慮して、就労継続支援B型事業を廃止して生活介護事業の中で生産活動を展開していく方向で結論づけまして、来年度より生活介護事業への統合を予定しております。また、ご利用者の皆さんの生活環境を改善するべく、十月には郵便事業(株)の補助を受け、施設内全館に水道が布設され、さらに国庫補助で今年一月末には大浴室の全面改修工事が完了し、特殊浴槽を兼ね備えた浴室と一体で活用できるようにになり、ゆったりとくつろいで入浴できる環境へと生まれ変わります。施設が開設二十八年目を迎えることから、老朽化している部分の改善は今年も共用部分を中心に本館の空調設備の更新などを計画しております。また、昨年引き続き、環境改善を図っていきます。また、施設の大規模修繕等、維持管理を行っていく上で安定した経営基盤を確立する為に人的資源管理制度を導入する予定であります。職員の対人援助の質の向上にも力をいれ、皆様方に信頼されるよう役員一同頑張っております。新年のご挨拶とさせていただきます。

◇ 餅つき大会

十二月二十八日(水)

石村文人様、仲田伸一様、福本幸忠様から餅米のご寄贈を頂き、年末恒例の餅つき大会を行いました。ご家族の皆様をはじめ、秋穂産業株式会社の社員さんの参加協力を頂き、十七うすの餅をつくことができました。つきたてのあん餅やぜんざいをお腹いっぱい頂き、終始賑やかな雰囲気です。平成二十三年最後の行事を無事に終えることができました。



ぜんざいおいしい♪



きれいに丸めて...



◇ 野外給食

十月二十日(木)

爽やかな秋空の下、恒例の野外給食(バイキング風模倣店)を実施しました。たくさんメニューの中でも、焼き肉は大人気で用意したお肉があっという間になくなりました。新メニューとして、ラーメン、エビフライ、数種類のパン、デザート等もあり、食欲の秋を堪能しました。



お腹いっぱい!!



もぐもぐ...おいしい☆



◇ 総合防火講習

十月二十七日(木)

山口市南消防署秋穂出張所の協力のもと、総合防火講習を行いました。出火想定場所を厨房とし、職員駐車場へ避難しました。日中を想定して行った為、職員それぞれが役に分かれ利用者さんの避難誘導や消防機関への連絡等を行いました。毎月避難訓練を実施していますが、非常ベルが鳴り響くとやはり冷静さを失ってしまいうものです。このような機会を大切に、日々防災に取り組んでいきたいです。



消火するぞ~★



◇ 慰問

十一月十二日(土)

山口市チューリップの会母親クラブの幼児さんから大人の方まで約十八名の来園があり、踊りの披露を頂きました。毎年来て頂いている事もあり、幼児さんの成長を実際に感じる事ができ、又踊りに磨きがかかった子どもさんの素晴らしい舞を拝見する事ができました。会員の方々の堂々とした舞には、いつも感激するばかりです。



芳柳寿々小夜先生



＜歯科健診・講話＞

実施日：12月14日（水）・15日（木）

実施主体：山口県

実施機関：山口健康福祉センター

実施目的：う歯や歯周疾患に罹患する傾向にある障害者等やその家族等の口腔管理の充実を図る為、口腔ケアの重要性等を周知し、障害者等やその家族等の口腔の健康保持増進を図る。



当園の協力医療機関でもある佐川歯科医院（佐川博院長）より講話・健診を受けました。

◇ クリスマス会

十二月二十一日（水）

「メリークリスマス会」のかけ声でクリスマス会がスタートです。当園のクリスマス会といえば：利用者さんが仮装をして歌を披露する事が恒例になっています。今回も趣向を凝らした利用者さんの衣装に、大変盛り上がりしました。又、今年はメニューを一新してケーキに加え、オードブルやピザ等を準備し、クリスマスの雰囲気を感じ取り楽しみました。

作業班別対抗「ものあてゲーム」は、箱の中の物を探りのみで当てるゲームで、目隠しをして恐る恐る箱の中を探る利用者さんの姿は皆の笑いを誘いました。職員部署別対抗「伝言ゲーム」は、お題に添って絵を描き、その絵を次の人につないでいき、最後の人がお題を当てるゲームです。お題とかけ離れた絵に利用者さんは大笑いをしていました。

心もお腹も満たされた一日となりました。

◇ 新入園者紹介

原田正行さん

はじめまして。よろしく申し上げます。

（十一月二十一日入園）

橋本広之さん

昨年までハンドバックの制作を行っていました。ミシン使用の経験を生かして、作業を頑張りたいです。

よろしく申し上げます。

（一月六日入園）



☆お知らせ☆

平成23年4月1日に新体系事業移行（施設入所支援、生活介護事業・就労継続支援B型事業）を致しましたが、平成24年4月1日より日中活動事業においては、生活介護事業へ統合することになりました。今まで通り作業という柱は残して、生産、創作活動を行いながら、利用者さんに楽しく、のびのびと過ごして頂けるようなサービス提供をしていきたいと考えています。

ご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

施設利用の御希望、御見学のお問い合わせは山口秋穂園までお願いします。

TEL 083-984-5151

FAX 083-984-5152

◇ 十月二十一日付けで長尾兼志さんが退園されました。平成二十二年二月に入園後、自動車部品の組み立てや干支土鈴の絵付け等、様々な作業に携わっておられました。

◇ 十一月九日付けで上田博幸さんが退園されました。平成十七年九月に入園後、自動車部品の組み立てを中心に作業に携わっておられました。

長尾さん、上田さん、これからのご活躍を心よりお祈り申し上げます。